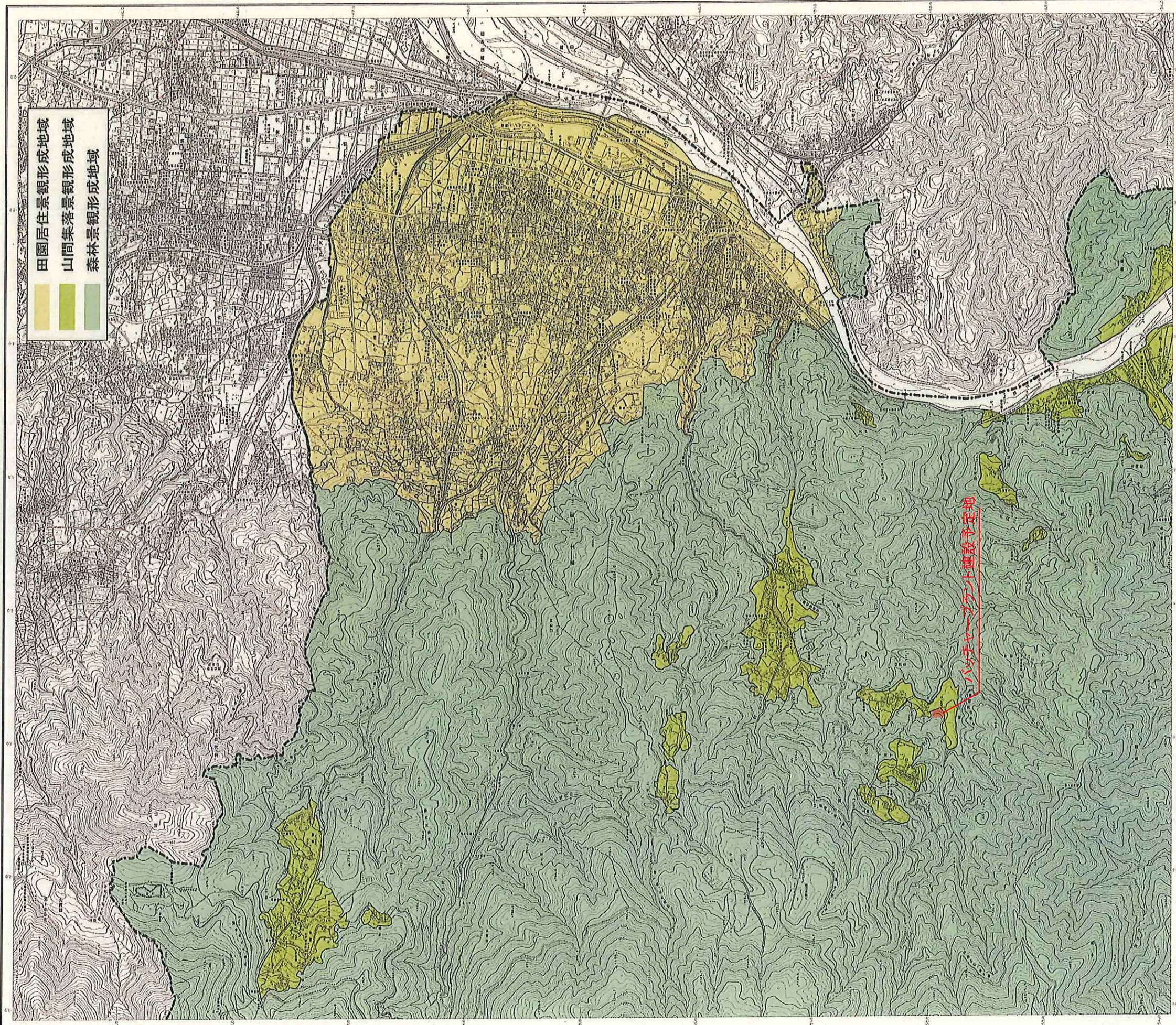
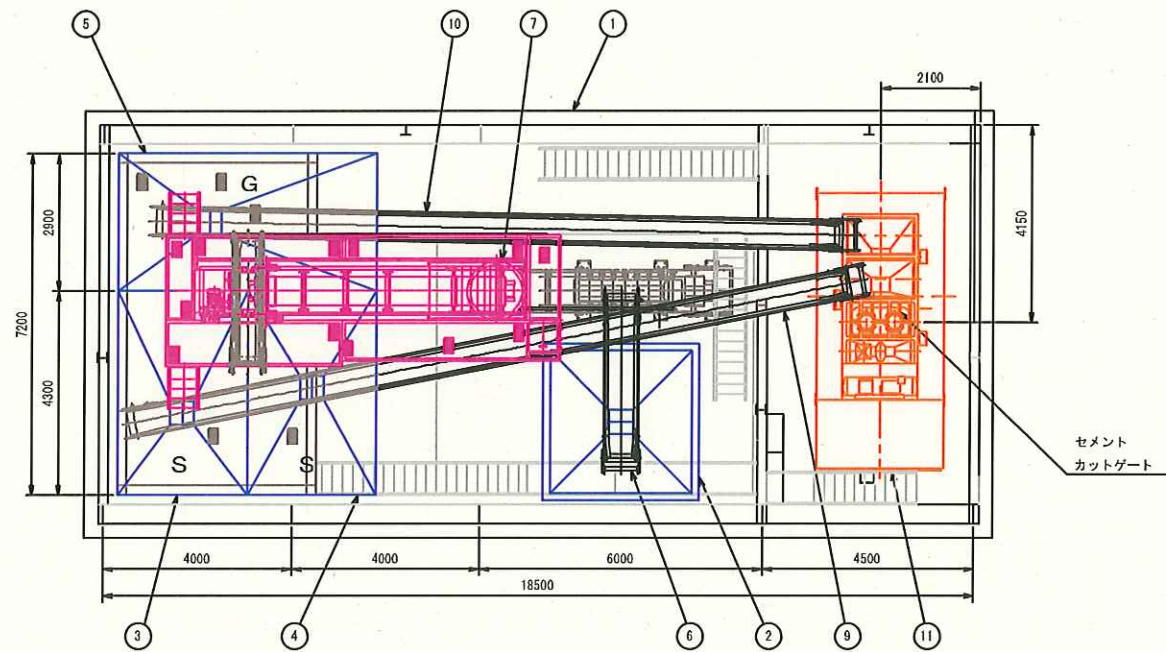


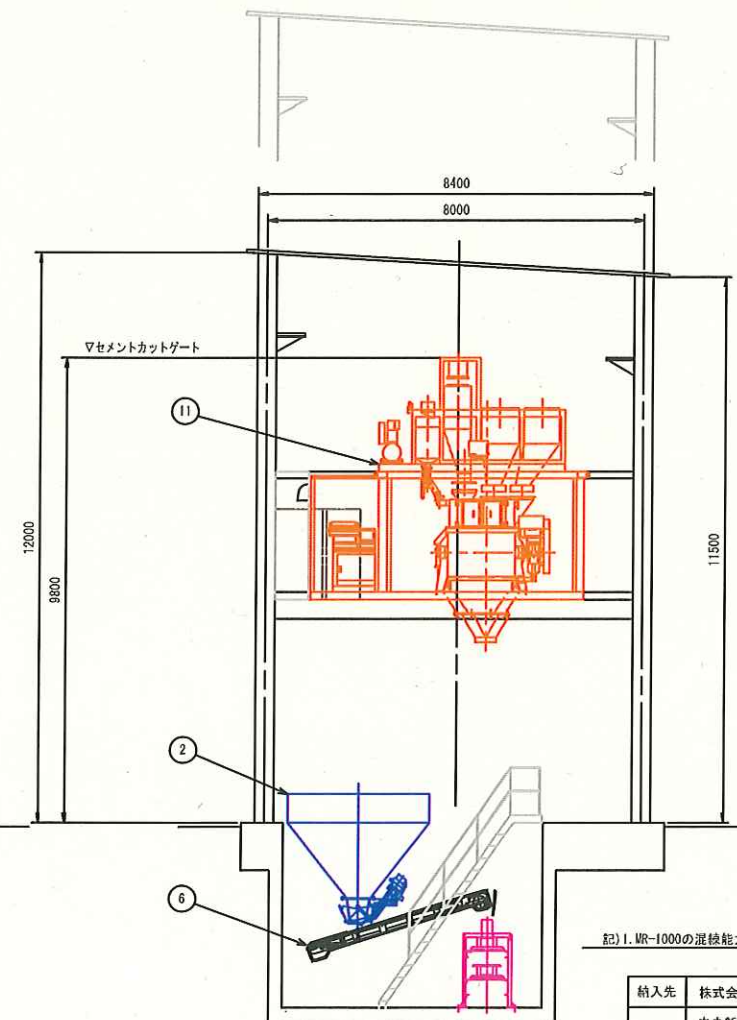
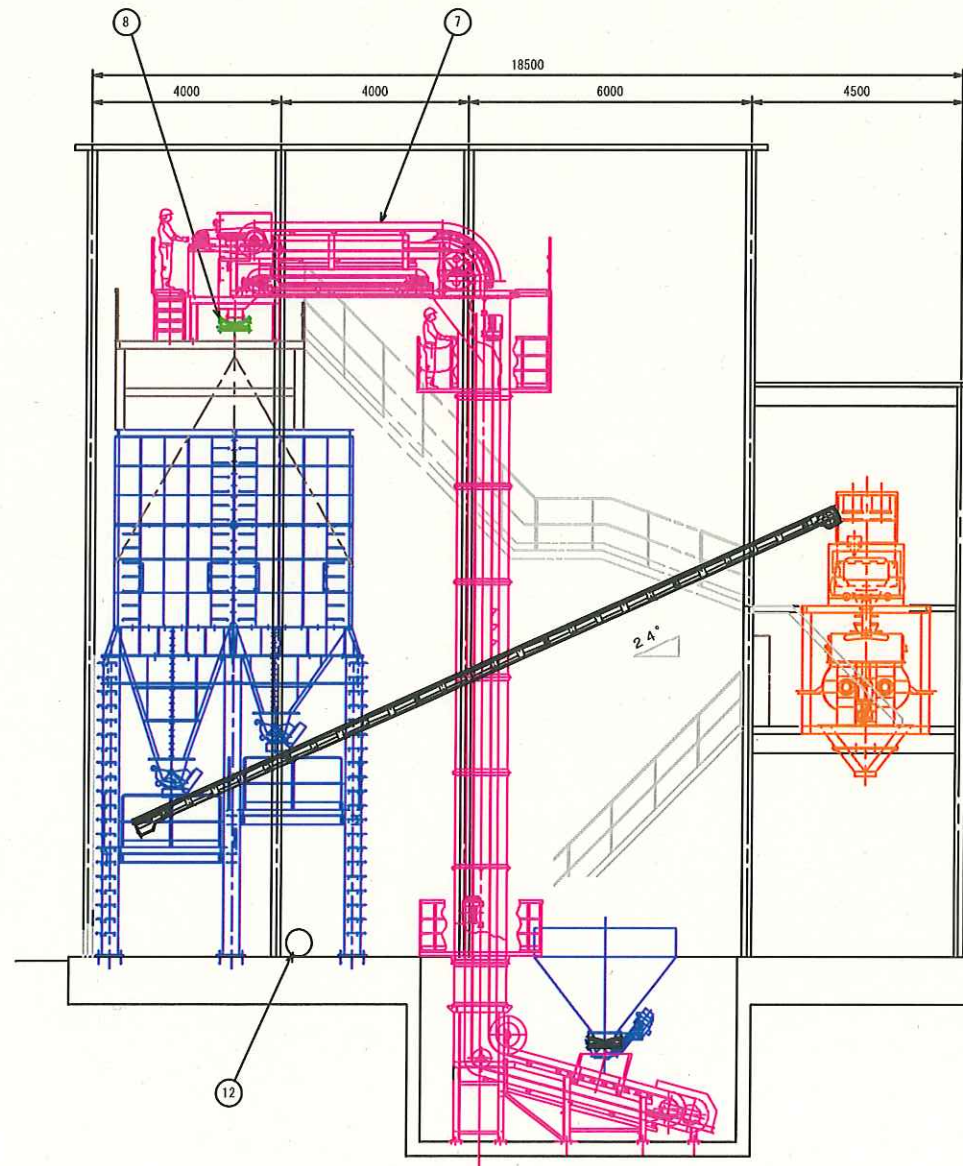
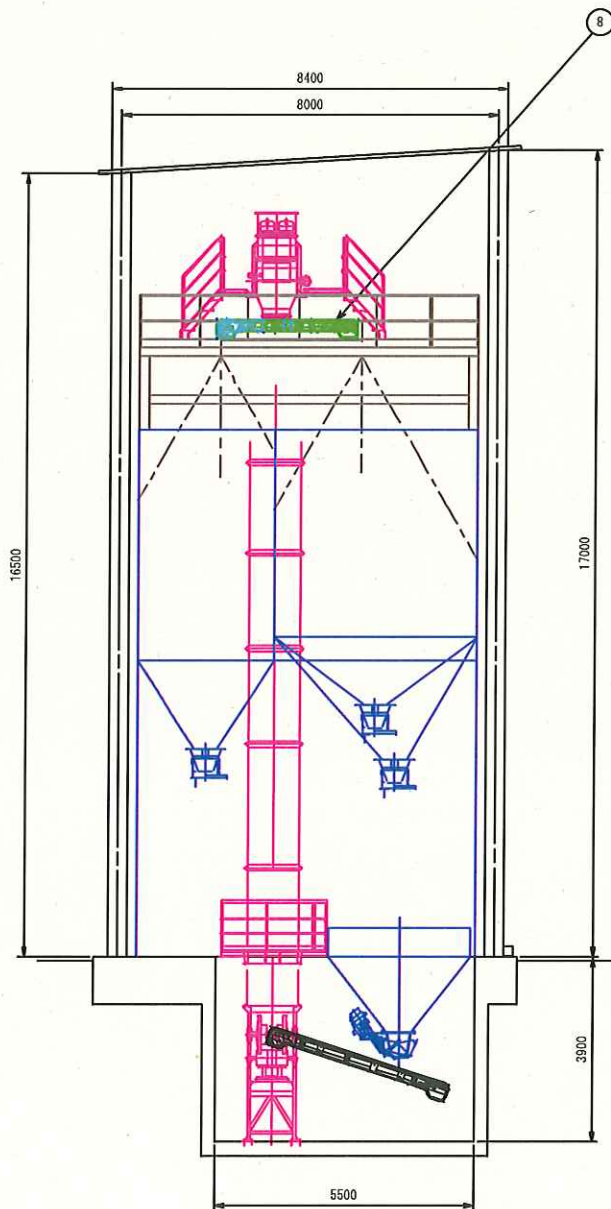
景觀形成地域区分図 2





品番	名 称	仕 様	数	電 力
1	建屋	35mm厚リンドイッチパネル 電動シャッター×1		
2	砂・砂利共通受入ホッパー	約 6 m3 電動パイプレーター付	1	0.25 kW
3,4	砂ホッパー(水張容量)	約 110 m3 電動パイプレーター付	2	0.50 kW
5	砂利ホッパー(水張容量)	約 89 m3	1	
6	砂・砂利共通引込ベルトコンベア	平ベルト 600W× 4000L、能力60T/H	1	2.2 kW
7	垂直ベルトコンベア	フレックスベルト 600W、能力60T/H ビリ回収装置	1	7.5 kW 0.75 kW
8	正逆ベルトコンベア	平ベルト 600W× 3000L、能力60T/H	1	1.5 kW
9	砂計量ベルトコンベア	平ベルト 500W×15000L、能力50T/H	1	2.2 kW
10	砂利計量ベルトコンベア	平ベルト 500W×16000L、能力50T/H	1	2.2 kW
11	ミキサユニット	MR-1000 SEC様仕様	1	30 kW
		エアコンプレッサー空冷式	1	5.5 kW
		ミキサ洗浄ポンプ	1	2.2 kW
		清水ポンプ	1	2.2 kW
		電動パイプレーター	1	0.4 kW
12	骨材搬送用コンプレッサー	エアコンプレッサー空冷式	1	3.7 kW

電力合計 61.1 kW

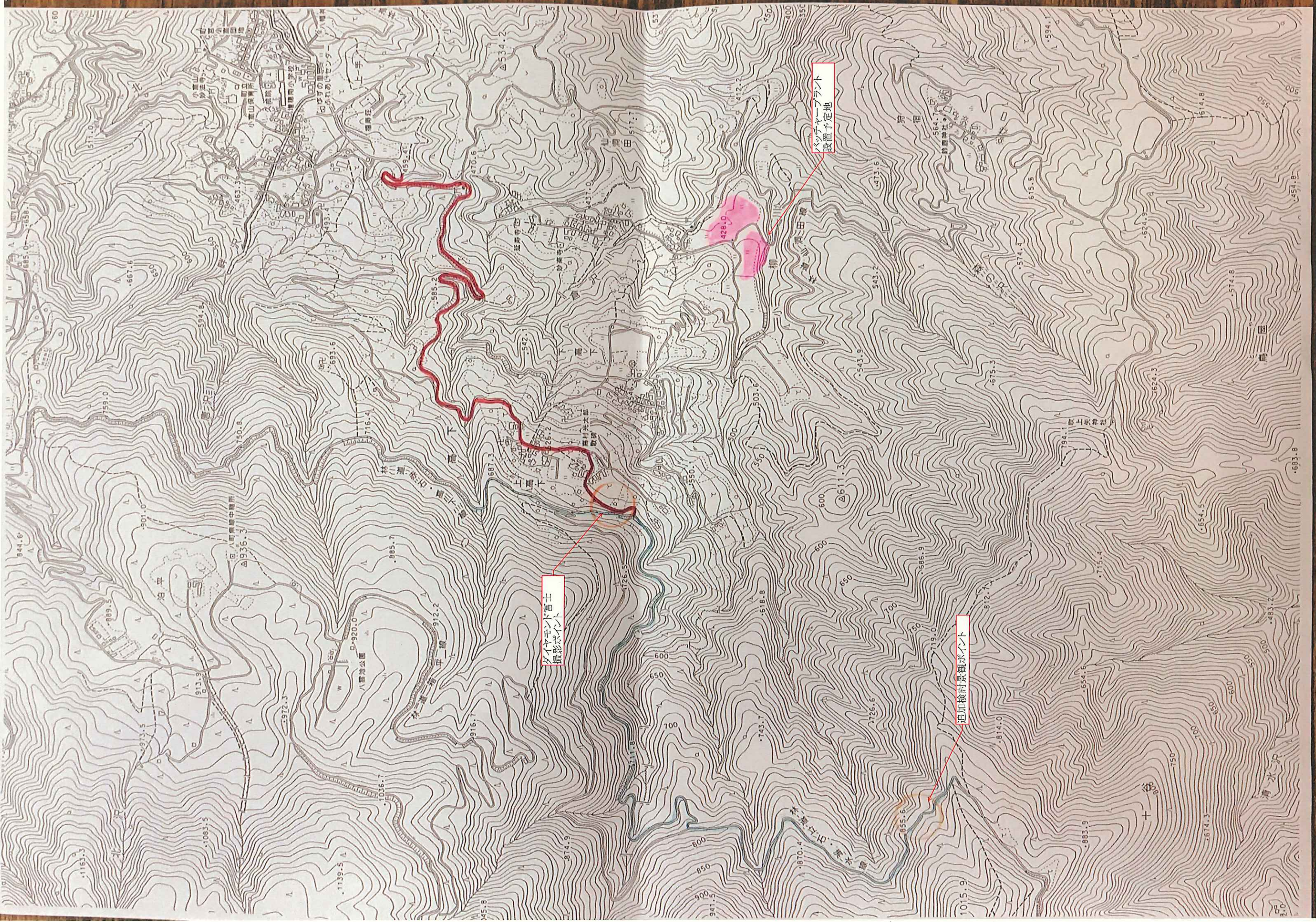


記) 1. MR-1000の混練能力は混ぜ時間、骨材の種類によって変わります。

納入先	株式会社大林組 殿		
名称	中央新幹線南巨摩第四トンネル東工区 パッチャープラント計画図 MR1000		
図面番号			
尺度	1 : 160 (A3)		

バッチャープラント 設置イメージ





ダイヤモンド富士
撮影ポイント

バッテリープラント
設置予定地

追加検討景観ポイント

バッチャープラント設置に対してのダイヤモンド富士からの景観影響について

1. はじめに

環境影響評価書における表 8-5-1-18(14)主要な眺望景観の変化の予測結果に記載のダイヤモンド富士撮影ポイントからの景観影響について、現地確認および地形等よりバッチャープラント設置による影響調査・検討を行った。

2. 撮影ポイントおよび設置場所の位置関係

撮影ポイントおよびバッチャープラント設置場所を図1に示す。



図1. 撮影ポイントおよび設置場所の位置関係

3. 環境影響評価書完成後のイメージ上でのバッチャープラント位置

バッチャープラントは鉄道施設（橋梁区間）の名古屋方末端部に位置する。環境影響評価書における図8-5-1-2(14)主要な眺望景観の変化の予測結果に記載の完成後のイメージにおいて、鉄道施設（橋梁区間）品川方の一部を眺望できるようになるが、鉄道施設（橋梁区間）名古屋方およびトンネル区間坑口は眺望できるようにはなっていない。これにより、完成後のイメージにおけるバッチャープラントのおおよその位置を図2内の赤枠で示す。



図2. バッチャープラント位置

4. 地形および山林による眺望検討

前述よりバッチャープラント設置予定地におけるバッチャープラントの眺望は地形および山林の影響を受ける。地形図および現地山林高さよりバッチャープラントの眺望を検討する。検討条件は下記である。

- ・バッチャープラント設置位置標高 432m (撮影ポイントから 953m)
- ・バッチャープラント高さ 17m ・山林高さ 20m
- ・撮影ポイント標高 640m ・検討縦断図 地形図等高線

上記条件および現地状況より、眺望検討を図3に示す。

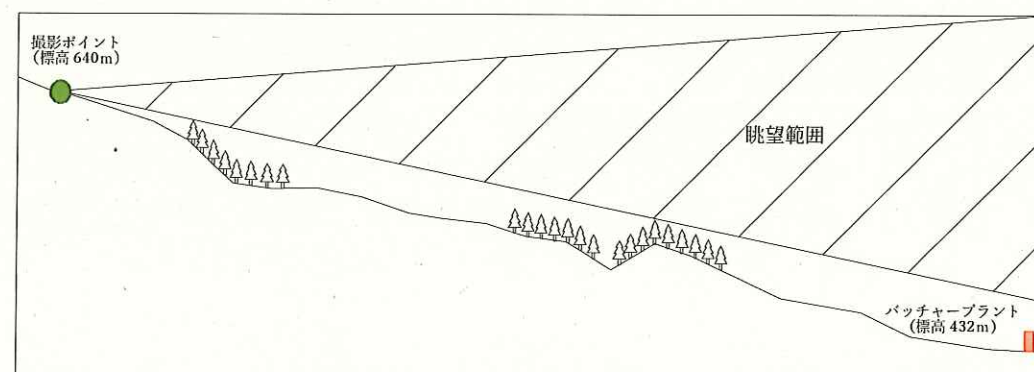


図3. バッチャープラント眺望検討

5. まとめ

前述バッチャープラント眺望検討より、バッチャープラント設置予定地はダイヤモンド富士撮影ポイントから地形および山林により眺望範囲に含まれず、バッチャープラントは眺望できるようなにはならない。

バッチャープラント設置に対しての追加検討箇所の景観影響について

1. はじめに

ダイヤモンド富士撮影ポイントからの景観影響については別紙により検討しているが、別途ダイヤモンド富士撮影ポイントから林道立石・清水線を3.0 km奥に入った箇所に景観ポイントがあるとのことにより当該景観ポイントからの景観について、現地確認および地形等よりバッチャープラント設置による影響調査・検討を行った。

2. 景観ポイントおよび設置場所の位置関係

景観ポイントおよびバッチャープラント設置場所を図1に示す。

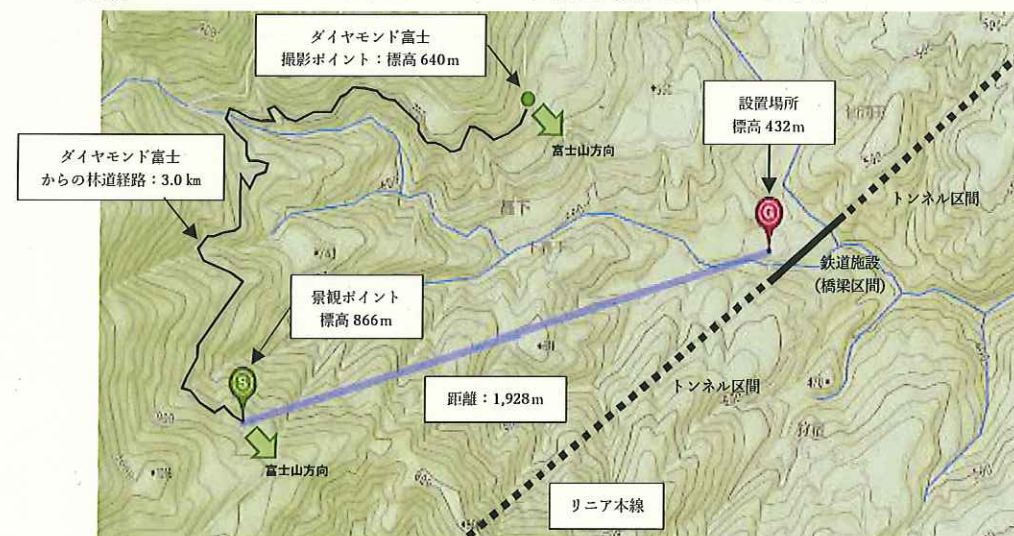


図1. 景観ポイントおよび設置場所の位置関係

3. 景観ポイント状況と景観

景観ポイントへ至る林道は急峻で道幅が狭く、車両の離合ができない。また、小規模のがけ崩れおよび落石が散見される。また、崖側にガードレールがない箇所が多く、車両転落の危険性がある林道である。

景観ポイントは林道脇の山林伐採により一部見晴らしがよくなっている箇所であり、景観スペースや駐車スペースはない。また、山林伐採後の植林により道路高さより2～3 m程度の若木があり、若木の合間から景観を眺望する。

景観は東北東方向に尾根と尾根の間から富士川町及び中央市の街並みが眺望できる。バッチャープラント設置場所は山林及び山の起伏により眺望できない。その他方向は山林および山の起伏により景観を眺望できず、東南方向にある富士山は山及び山林で眺望できない。

景観ポイントの状況を写真1、眺望を写真2に示す。また、写真2にバッチャープラントのおおよその位置を赤枠で示す。



写真1. 景観ポイント状況



写真2. 景観ポイントからの眺望

4. 地形および山林による眺望検討

バッチャープラント設置予定地におけるバッチャープラントの眺望は地形および山林の影響を受ける。地形図および現地山林高さよりバッチャープラントの眺望を検討する。検討条件は下記である。

- ・ バッチャープラント設置位置標高 432m (撮影ポイントから 1,928m)
- ・ バッチャープラント高さ 17m ・ 山林高さ 20m
- ・ 景観ポイント標高 866m ・ 検討縦断面図 地形図等高線

上記条件および現地状況より、眺望検討を図2に示す。

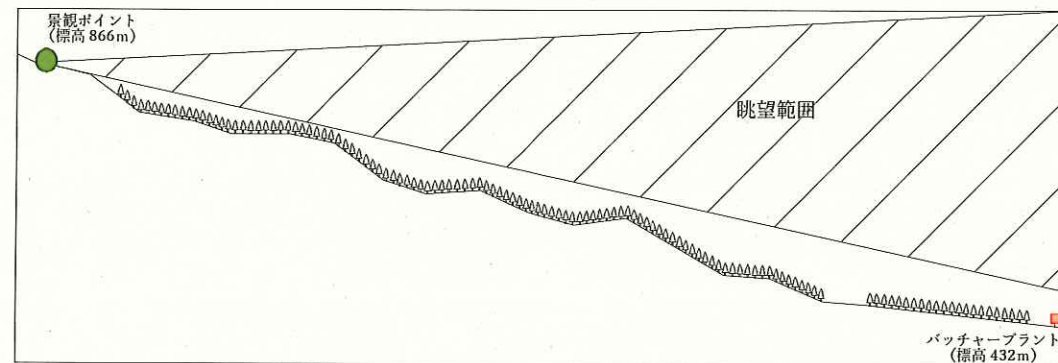
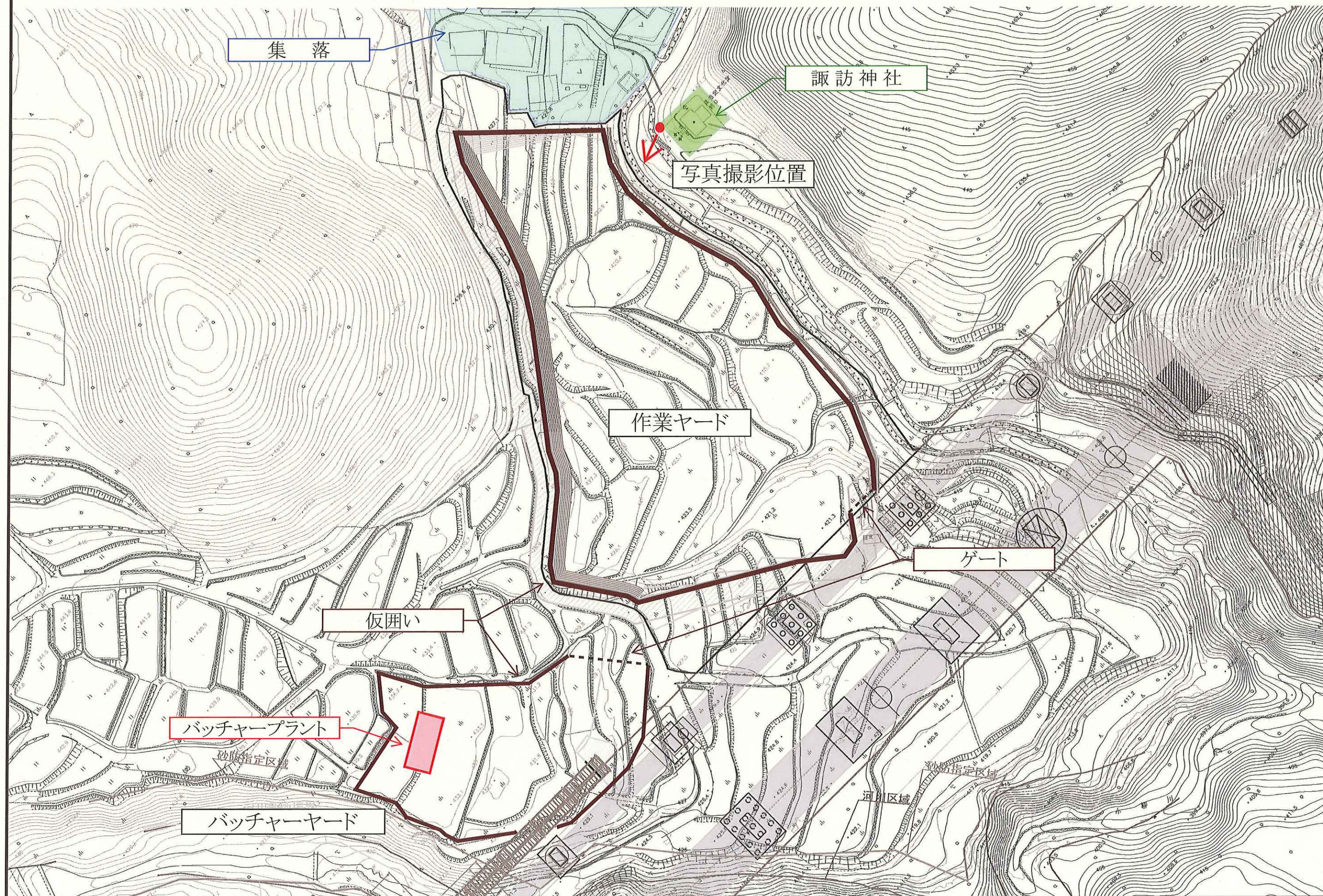


図2. バッチャープラント眺望検討

5. まとめ

前述バッチャープラント眺望検討より、バッチャープラント設置予定地はダイヤモンド富士撮影ポイントから林道立石・清水線を3.0 km奥に進んだ景観ポイントからは地形および山林により眺望範囲に含まれず、バッチャープラントは眺望できるようなにはならない。

バッチャープラント設置周辺図 1/500



近隣住宅付近からのバッチャープラント眺望
(高下諏訪神社前より)



近隣住宅付近からのバッチャープラント眺望
(高下諏訪神社前より)

※バッチャード仮囲い設置時のイメージ



近隣住宅付近からのバッチャープラント眺望
(高下諏訪神社前より)
※仮設ヤード仮囲い設置時のイメージ



バッチャー位置

仮囲い
3 m

盛土

工事期間中の状況
(仮設ヤード整備までの準備工以外の期間)

好評発売中

景観色仮囲い鋼板 「STダークブラウン」

安全鋼板タイプ・フラット（VIC）パネルタイプ



ガードレールやネットフェンス等の鋼製防護柵に多く用いられる景観に配慮した塗装色のひとつ、**ダークブラウン**（こげ茶色）を仮囲い鋼板に採用しました。

近年は鋼製防護柵だけでなく、建物の外壁など、あらゆる公共建築物の外観に、周辺景観への配慮を求める傾向が強くなってきております。建設現場もかつてメッキ色だった仮囲い鋼板は現在ホワイト色が主流になり、現場のイメージアップに大きく貢献してきました。今後は更に周辺景観にどれだけ調和しているかがポイントになってきます。ダークブラウンの仮囲いで、必要以上に目立たない、環境にマッチした現場を目指してみたいかがでしょうか。

特 徴

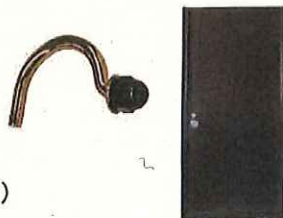
- 従来は特注で亜鉛メッキの安全鋼板に、あと塗装していたものをSTカラー鋼板として採用
 - 信頼のブランド、日鉄鋼板(株)のニスクプロコート®を原板に使用
 - 国土交通省の景観ガイドラインにある色彩を基調に作成
- ※関連商品との色合わせにより少々調整しておりますので、推奨値とは若干異なります

仕 様

	厚み(mm)	有効幅(mm)	長さ(m)	質量(kg)	材質	カラーイメージ
安全鋼板タイプ	1.2mm	540	2	12.0	JIS G3312 CGCC	
			3	17.9		
VICパネルタイプ		500	2	12.4		
			3	18.6		

関連製品

- フックボルト用カラーナット
- パンチングタイプ
- VIC用幅調整・コーナー
- ドア類（VICドアパネル・STDアワイド）



※裏面のサービスコート色を変更しました

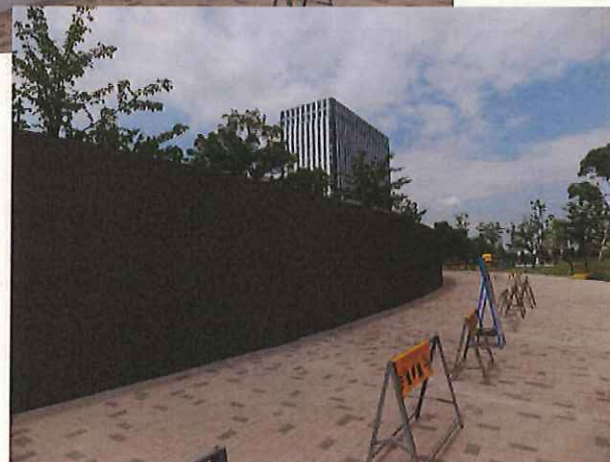


同系の色感で裏面もさりげなく景観に配慮します

仮囲い鋼板は 「ホワイト」から「ダークブラウン」の時代へ!!

イメージアップ 景観との調和

設置イメージ

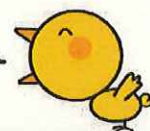


■都市部の景観色仮囲い設置イメージ



■山間部の景観色仮囲い設置イメージ

あくまでイメージだけど、雰囲気変わるよね!



施工例



■安全鋼板タイプ(H=2m)



■安全鋼板タイプ(H=3m)



■VICパネルタイプ(H=3m)

STC 鈴東株式会社

本社

〒101-0032 東京都千代田区岩本町1丁目12番3号
TEL.03(3863)6781(代表) FAX.03(3865)7348
TEL.03(3863)6791(代表)

大阪営業所

〒582-0002 大阪市淀川区東三国4-11-4 新大阪明成ビル
TEL.06(6399)0551(代表) FAX.06(6399)0566

ホームページ上でも、当社商品データが御覧になれます。

<http://www.suzutoh.co.jp/>

■代理店

2021/1/18

景観審議会資料追加質問に対する回答

- ① バッチャープラントの高さについて17mになる理由を箇条書きで結構ですので文章にして提出してください。

回答：全長 6,000mのトンネル2本を掘削するために、トンネル工事としては、容量の大きなバッチャープラントが必要な工事であり、必要な設備を整えると高さが 17mとなった。

- ② 盛土部分の処理について、どのように考えているか（例：緑化等）文章にして提出してください。

回答：倉沢川沿いの盛土部分は、法面の安定性を考慮し、下記写真のような補強土壁工法にて施工を行う。また、該当盛土部分は、借地箇所であり工事完了後には耕作地として返却予定である。このため、盛土は仮設構造とし法面表面は防草を目的にシート施工を行う。



写真、補強土壁工法施工事例（メーカーHPより）

ウ. 主要な眺望景観及び日常的な視点場からの景観の状況

主要な眺望点からの眺望景観及び日常的な視点場からの景観を表 8-5-1-5 及び表 8-5-1-6 に示す。

表 8-5-1-5 主要な眺望景観の状況

No.	地 域	主要な眺望点	主要な眺望景観の状況	視認できる景観資源	視対象となる鉄道施設
01	笛吹市	八代ふるさと公園（釜塚古墳）	眺望点からは、市之瀬台地、南アルプス山系、笛吹川を眺望できる。また、果樹園を手前に視認できる。	市之瀬台地、南アルプス山系、笛吹川	高架橋、橋梁
02		坊ヶ峯（西方向）	眺望点からは、市之瀬台地、南アルプス山系、笛吹川を眺望できる。また、中央自動車道を手前に視認できる。	市之瀬台地、南アルプス山系、笛吹川	高架橋、橋梁
03		境川PA（上り線）	眺望点からは、南アルプス山系、八ヶ岳・秩父山系、笛吹川を眺望できる。	南アルプス山系、八ヶ岳・秩父山系、笛吹川	高架橋、橋梁
04	甲府市	小瀬スポーツ公園	眺望点からは、御坂山地を眺望できる。また、公園内を流れる蛙沢川及び川沿いの桜並木を手前に視認できる。	御坂山地	橋梁
05		曽根丘陵公園（西～北方向）	眺望点からは、南アルプス山系、八ヶ岳・秩父山系、笛吹川を眺望できる。また、住宅地を手前に視認できる。	南アルプス山系、八ヶ岳・秩父山系、笛吹川	高架橋、橋梁
06	中央市	玉穂ふるさとふれあい広場	眺望点からは、八ヶ岳・秩父山系を眺望できる。また、成島地区の住宅や水田等を手前に視認できる。	八ヶ岳・秩父山系	高架橋
07	昭和町	山伏川の桜並木	眺望点からは、御坂山地及びその奥に富士山を眺望できる。また、山伏川沿いの桜並木及び水田を手前に視認できる。	御坂山地、富士山	高架橋、橋梁
08	中央市	ふるさと公園釜無川左岸堤防上（西方向）	眺望点からは、市之瀬台地、南アルプス山系を眺望できる。また、釜無川を手前に視認できる。	市之瀬台地、南アルプス山系、釜無川	橋梁
09	南アルプス市	釜無川右岸堤防上	眺望点からは、御坂山地及びその奥に富士山を眺望できる。また、釜無川を手前に視認できる。	御坂山地、富士山、釜無川	橋梁
10		塚原山フルーツ農場	眺望点からは、御坂山地及びその奥に富士山を眺望できる。	御坂山地、富士山	高架橋、橋梁
11	富士川町	森林総合研究所芝生広場	眺望点からは、市之瀬台地やその奥に八ヶ岳・秩父山系が眺望できる。	市之瀬台地、八ヶ岳・秩父山系	高架橋、橋梁
12		殿原スポーツ公園	眺望点からは、御坂山地を眺望できる。	御坂山地	高架橋、橋梁
13		大法師公園	眺望点からは、市之瀬台地、八ヶ岳・秩父山系を眺望できる。また、公園内の桜及び芝生を手前に視認できる。	市之瀬台地、八ヶ岳・秩父山系	高架橋、橋梁
14		ダイヤモンド富士撮影ポイント	眺望点からは、山並みの奥に富士山を眺望できる。	富士山	高架橋
15	早川町	青崖トンネル出入口（北側）	眺望点からは、早川溪谷を眺望できる。	早川溪谷	橋梁

